

# Q&Aコーナー

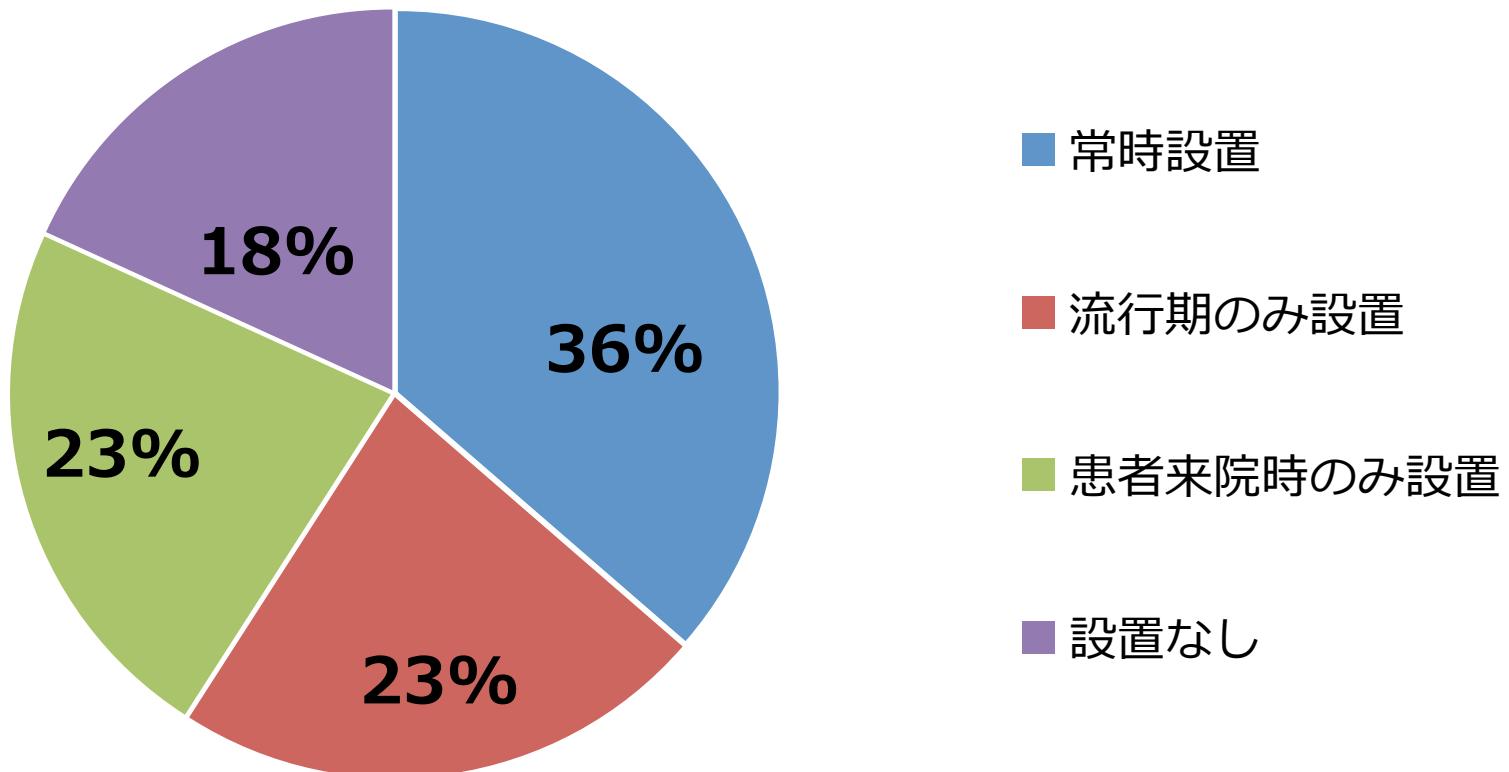
## テーマ インフルエンザ対策

○第4回カンファレンスQ&A担当 永田しのぶ  
(済生会八幡総合病院 感染管理認定看護師)

○監修 KRICTカンファレンスグループ

# 質問①外来での隔離について

n = 22

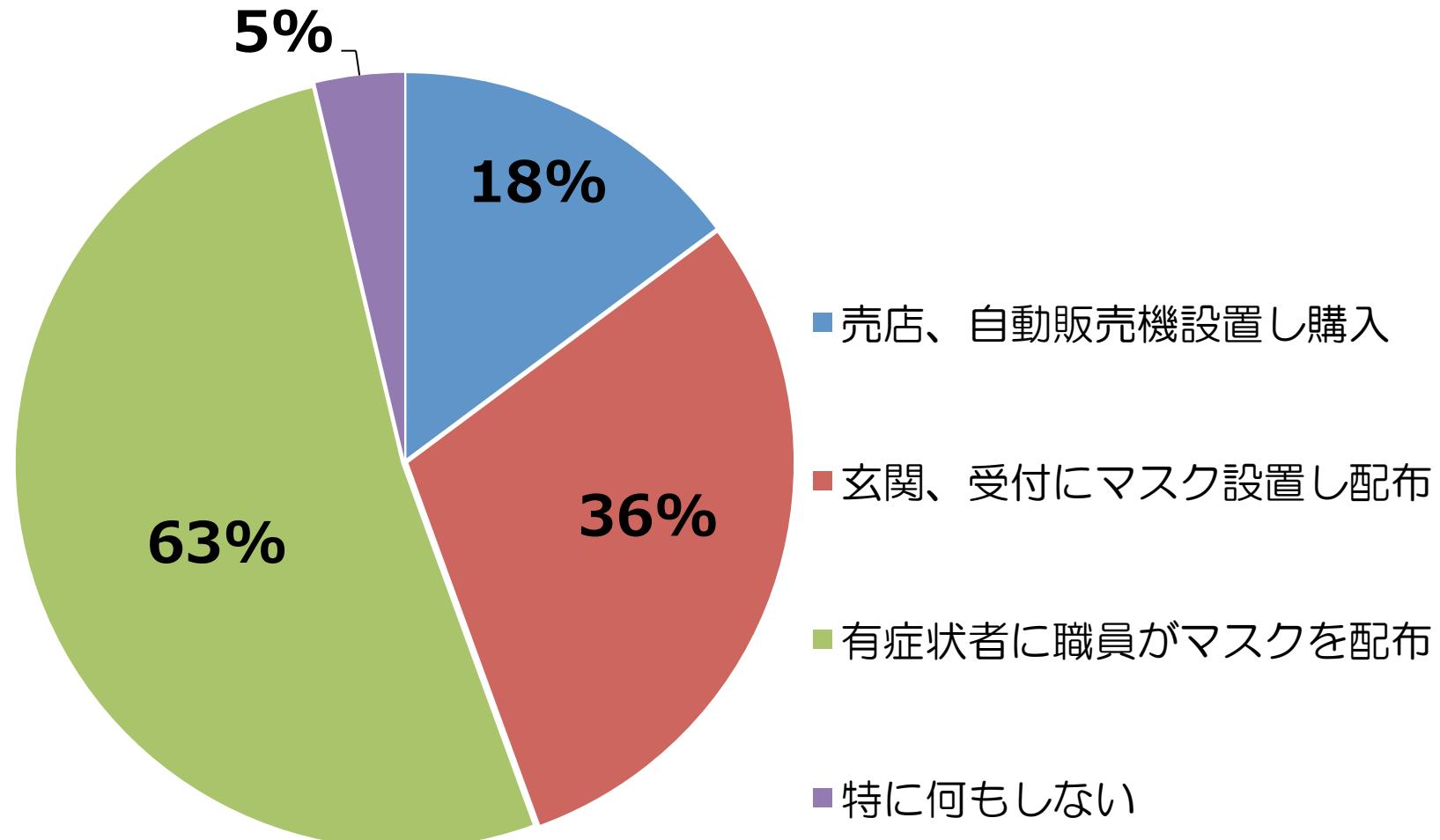




# 外来での隔離

- 流行期の外来では、インフルエンザ様  
症状があればインフルエンザを疑う
  
- インフルエンザ：飛沫感染
  - ・待合室を分ける
  - ・動線を交差しないようにする
  - ・1～2mの距離をとる

## 質問②マスクの着用(複数回答)



# マスクの着用

○インフルエンザ：飛沫感染

## 咳エチケットの啓発

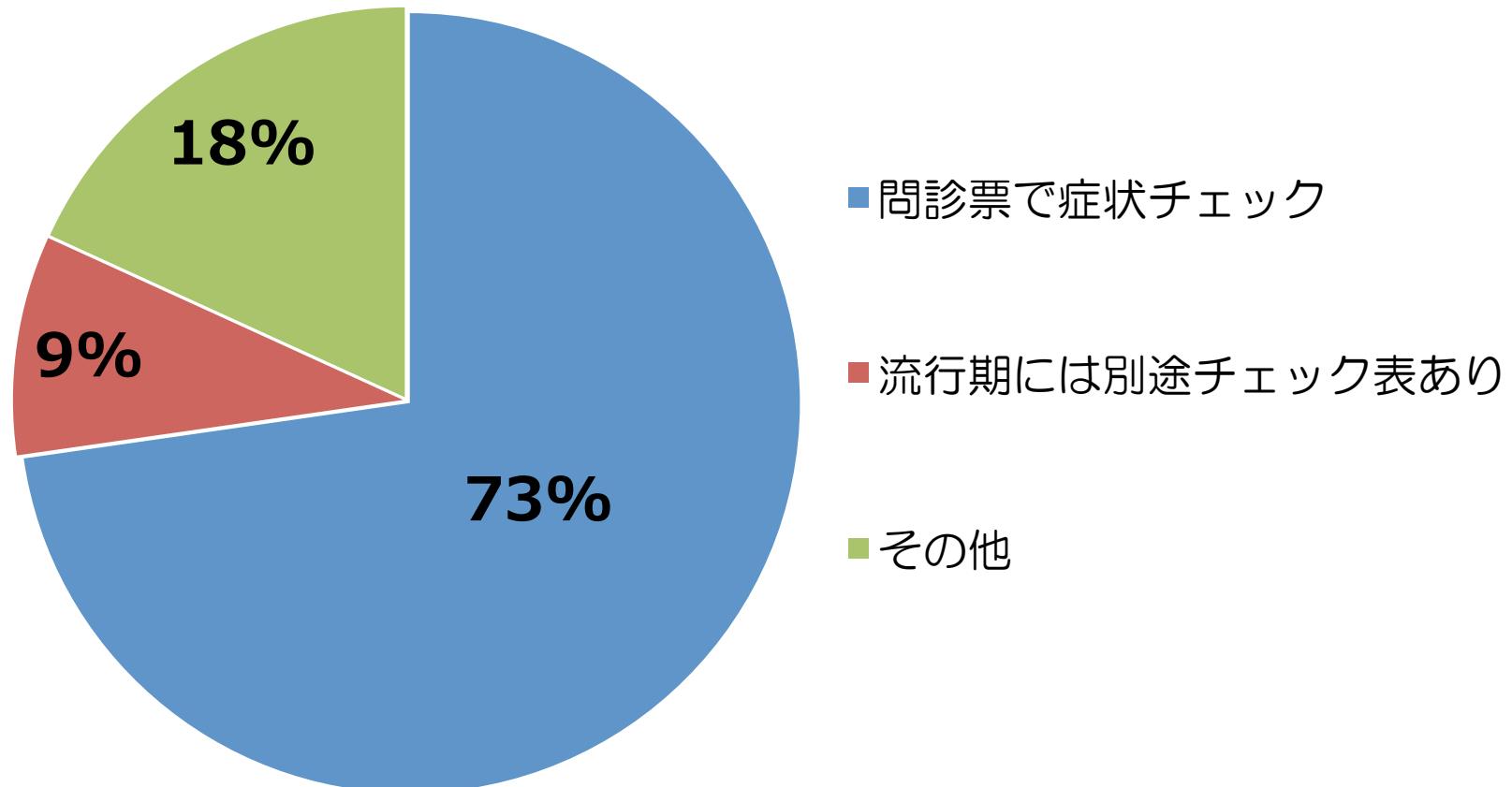
ポスター掲示

※症状がある患者さんへのマスク配布



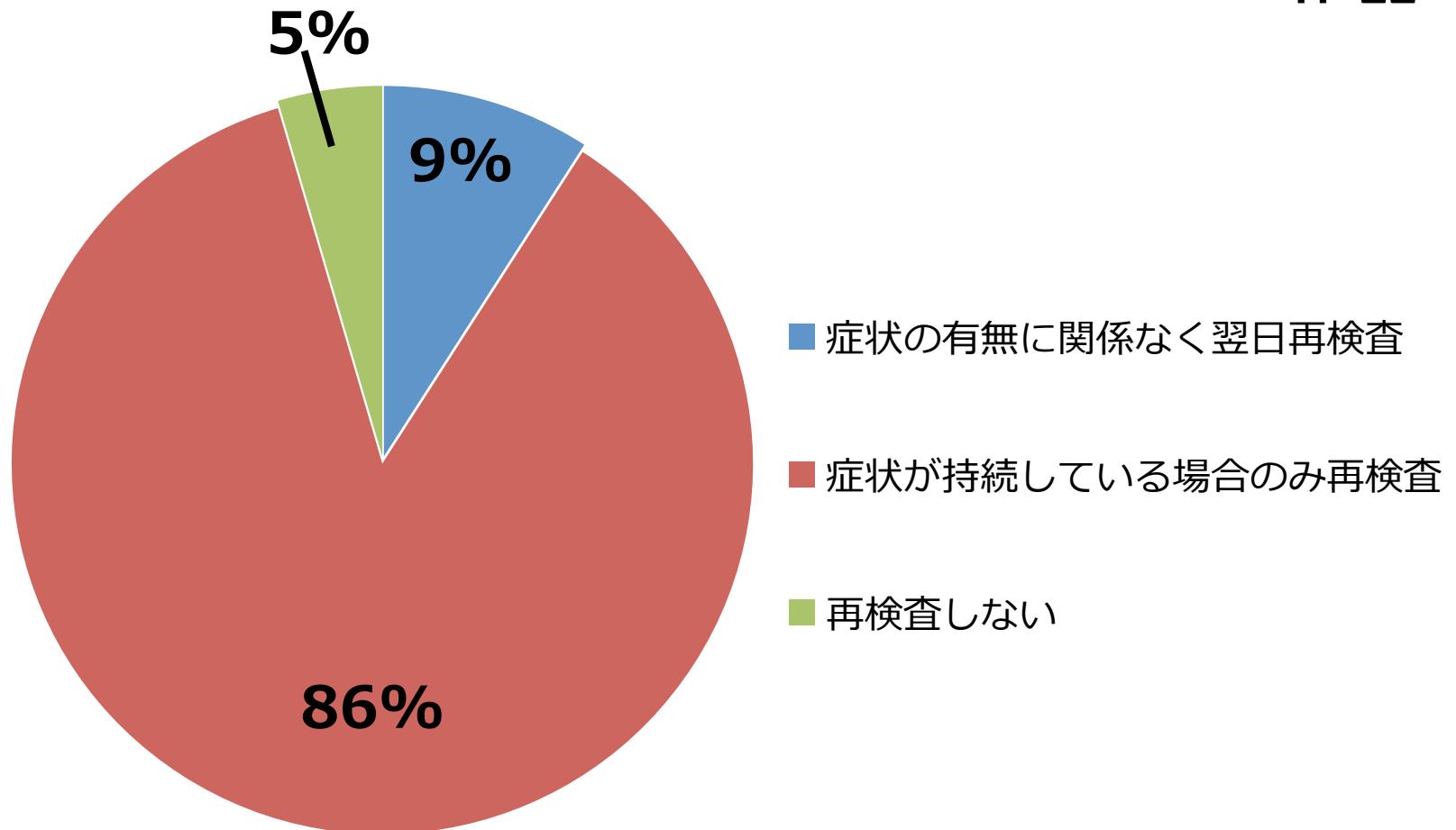
# 質問③症状のチェック

n = 22



# 質問④再検査について

n=22





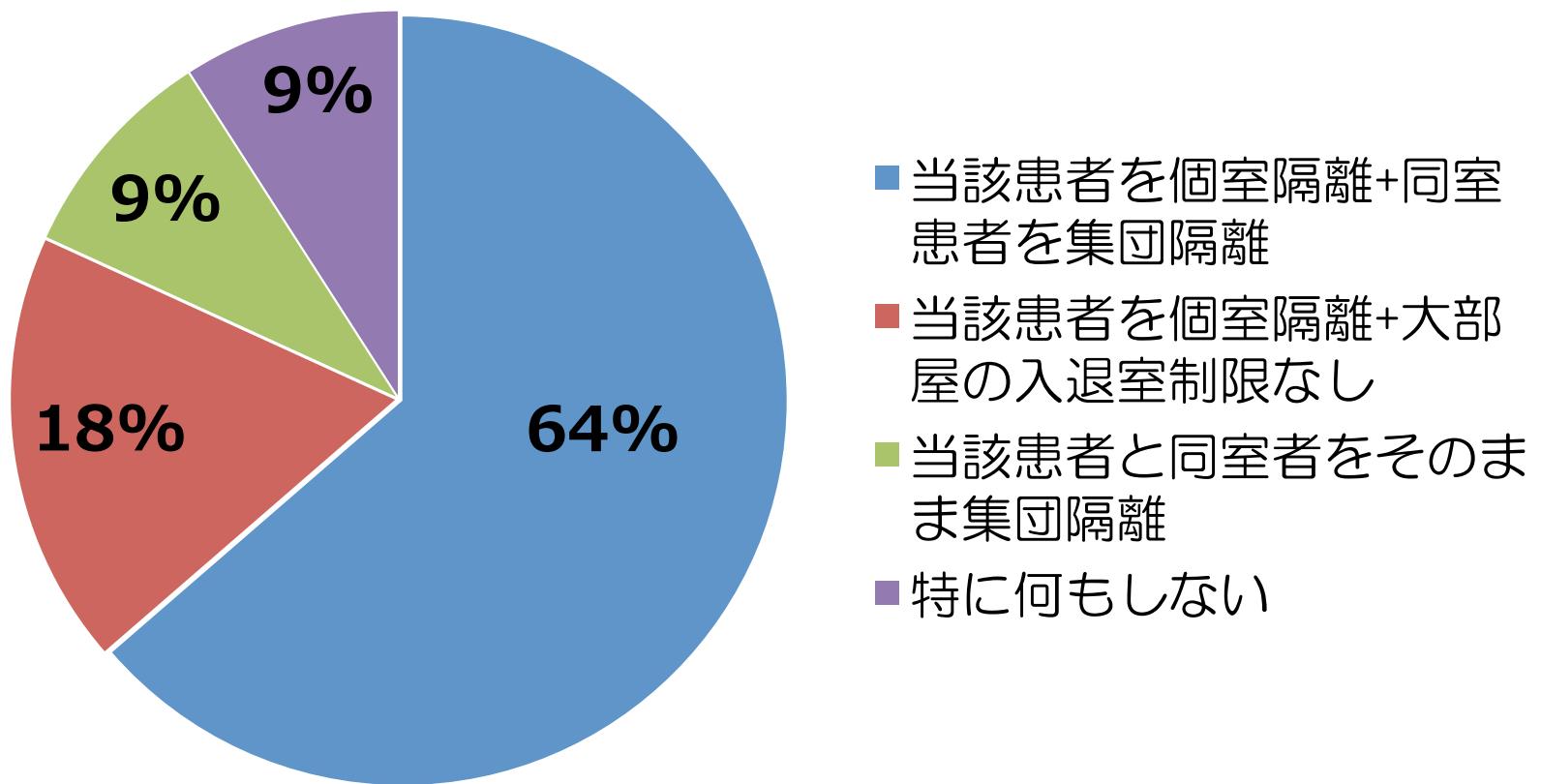
# 再検査について

## ○インフルエンザウイルス抗原検査

\* 発症初期に検体採取するとウイルス抗原量が十分でないため、検査結果が陰性となる可能性がある

# 質問⑤患者発生時の隔離

n = 22

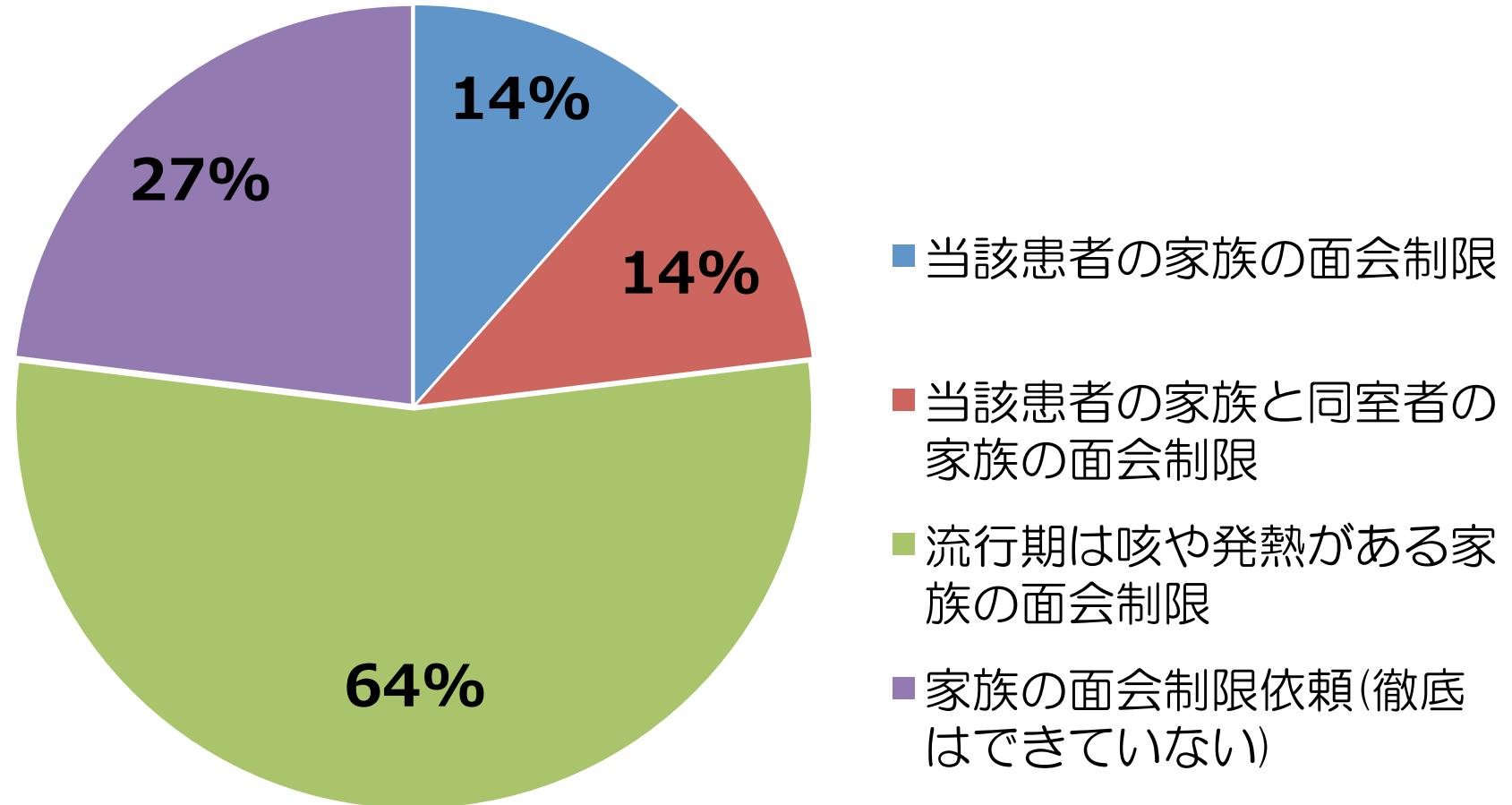




# 患者発生時の隔離

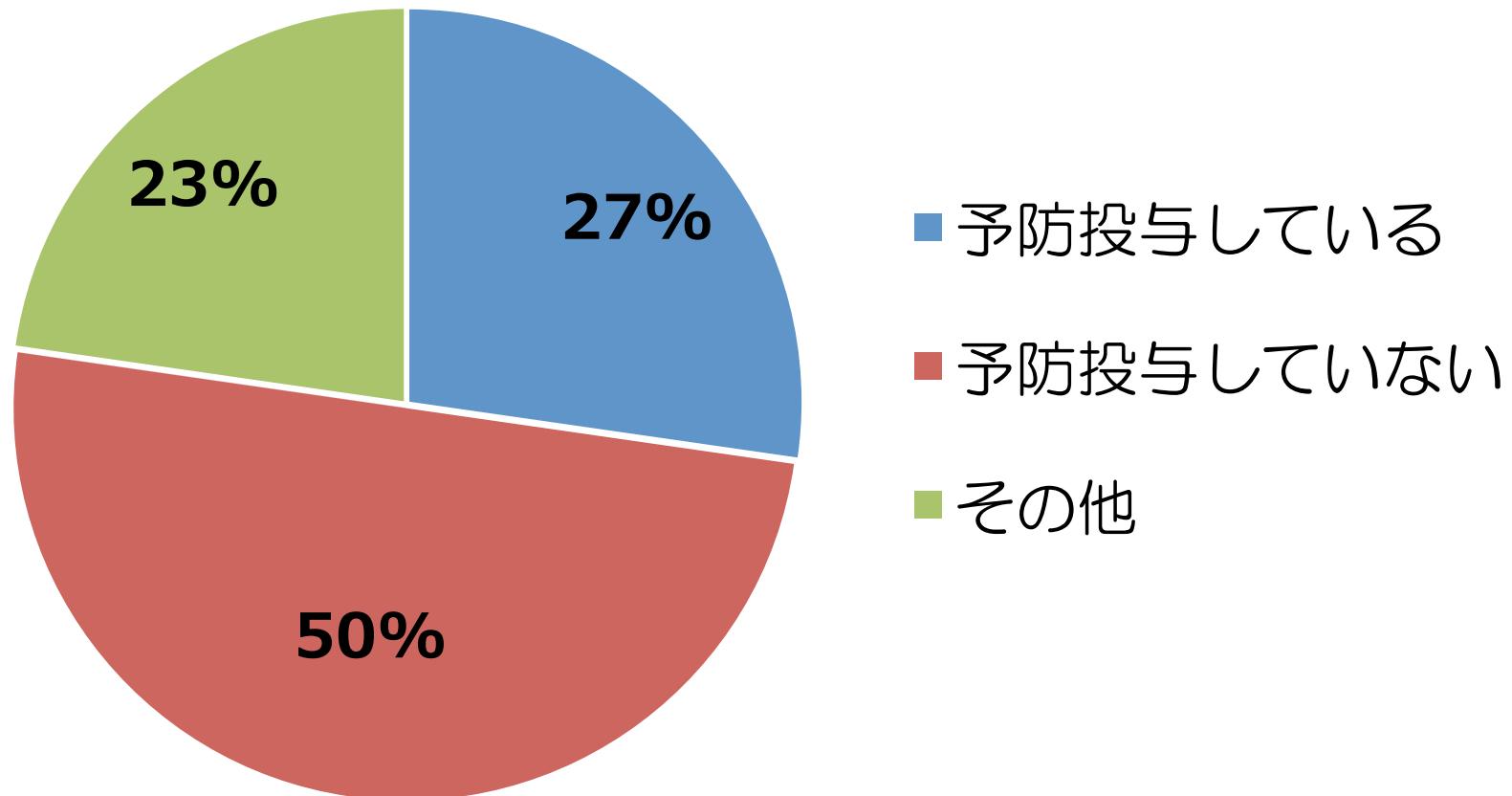
- 潜伏期間：1~5日(平均3日)
- 当該患者と同室者をそのまま集団隔離  
→ 集団隔離する場合は、ベッド間隔を1m以上(可能ならば2m)あける

## 質問⑥面会制限(複数回答)



## 質問⑦予防投与

n = 22





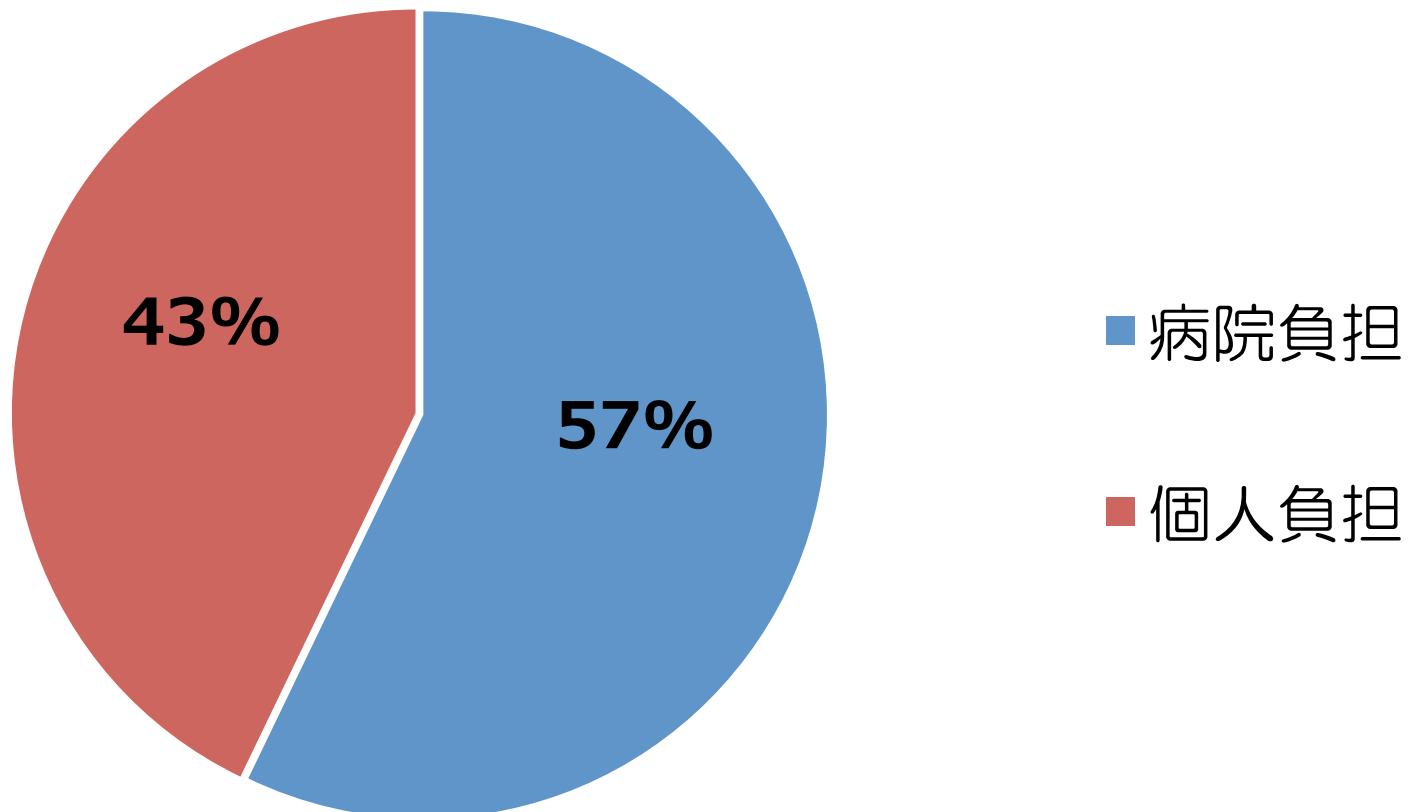
# 予防投与

## ○日本感染症学会提言2012

- ・インフルエンザが院内で発生した際は、他の入院患者への予防投与を行いましょう～
  - ・発症した患者に接触した入院患者や入所者に対しては、承諾を得た上で予防投与を開始
  - ・病院では基本的にインフルエンザ発症者の同室者に対して予防投与を実施するのが原則
- ※KRICT会員施設では、予防投与行っていない施設が多かった

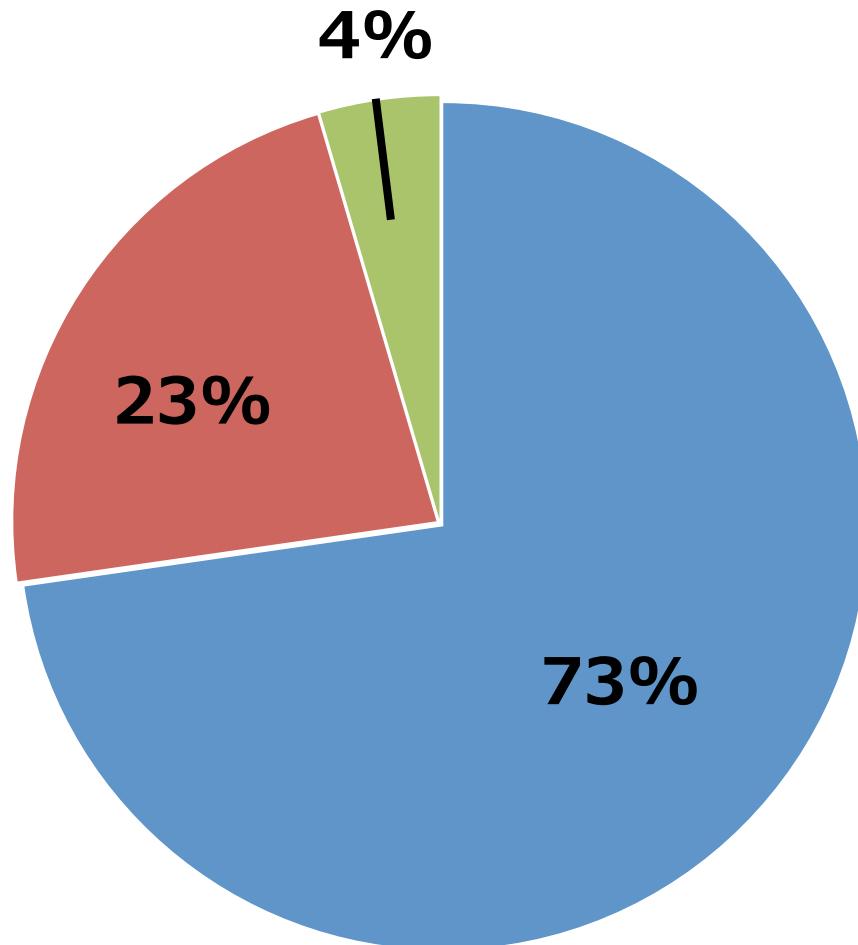
# 質問⑧予防投与の費用

n = 7



# 質問⑨職員家族が罹患したとき

n = 22



- 職員に症状がなければマスク着用で就業
- 職員に症状がなければ通常通り就業
- 無回答



ご清聴ありがとうございました